

「諫早に映画館あれば」「働きたい場所は」

小野中生徒 地元経営者らと語り合う



経営者らと語り合う小野中生徒＝諫早市小野ふれあい会館

諫早市黒崎町の市小野ふれあい会館で19日、市立小野中2年生と地元経営者らが市内でほしい場所や将来の目標などを語る「おしゃべり会」があった。生徒たちは「近くに映画館やショッピングモールがあったら便利」「趣味を生かせる仕事や安定した仕事に就きたい」など意見を述べていた。

生徒の進路学習の一助にしよ 述べた。

うと、小野公民館の青少年講座と同校の総合的な学習の時間として協働開催。同市のNPO法人「Seamless（シームレス）」が企画、運営した。生徒約50人と経営者ら約25人が13グループに分かれ、「今、はまっていること」「10年後の自分は」「お気に入りの小野地区の風景」などをテーマに話し合った。六倉吉莉さん(14)は市内でほしい場所についてグループの意見を紹介。「映画館まで長崎市へ行くしかなく、近くにあったら便利。ショッピングモールなど諫早で遊べる場所がほしいという声が多かった」と

一方で「将来働きたいのは地元か都会か」という議論に触れ、六倉さんは「『地元』と思っていたが、大人の方が『地元に残りながら、時々都会に遊びに行くのも楽しい』とアドバイスしてくれ、新しい感覚を教えてもらった」と話した。

初めて参加した同市の不動産業、九州興産取締役総合管理部長の山内美香さんは「生徒たちの考え方が現実的で驚いた。若者が集まる場所が少ないという意見を聞き、魅力的な町をつくるのが大人の役目だと感じた」と振り返った。

(高比良由紀)